

平成21年度厚生労働科学研究費補助金

医師の初期臨床研修到達目標 達成度評価に関する研究

研究代表者：齋藤宣彦

分担研究者：中島宏昭、堀内三郎、高橋弘明、平出 敦、木下牧子、
大滝純司

研究協力者：村岡 亮

目的

「臨床研修の到達目標」について、各臨床研修病院では、到達目標の達成度をどのように評価しているかを調査する。

対象と方法

対象：基幹型臨床研修病院（複数の研修プログラムがある場合は、その病院の研修責任者の代表）1059病院

方法：平成21年3月に研修を修了した研修医に対する達成度評価をどのようにしているか、調査用紙を送付し、研修責任者に記入を依頼

質問項目の概要

1. 達成度の総括評価の方法
2. 達成度の総括評価の時期
3. 達成度の総括評価の評価者・測定者
4. 総括評価で、修了と認定できなかった研修医(除 中断)
5. 評価結果の利用
6. 研修医に対し評価に関する事前の周知
7. 指導医に対し評価に関する事前の周知

8. 行動目標: 患者-医師関係、チーム医療、問題対応能力、安全管理、症例提示、医療の社会性について、評価時期・評価者・評価法
9. 経験目標: 医療面接、医療記録、レポート、予防医療、地域医療について、評価時期・評価者・評価法

達成度の総括的評価

「経験しました」という回答で済んでしまう項目は除外

評価方法をどのようにすればよいか、各研修病院が悩んでいる下記の項目

I 行動目標: 患者-医師関係、チーム医療、問題対応能力、
安全管理、症例提示、医療の社会性

II 経験目標

A 医療面接、医療記録

B レポート

C 予防医療・地域医療

これらについて、「いつ」(時期)、「誰が」(測定者)、「どのように」(方法)評価しているか

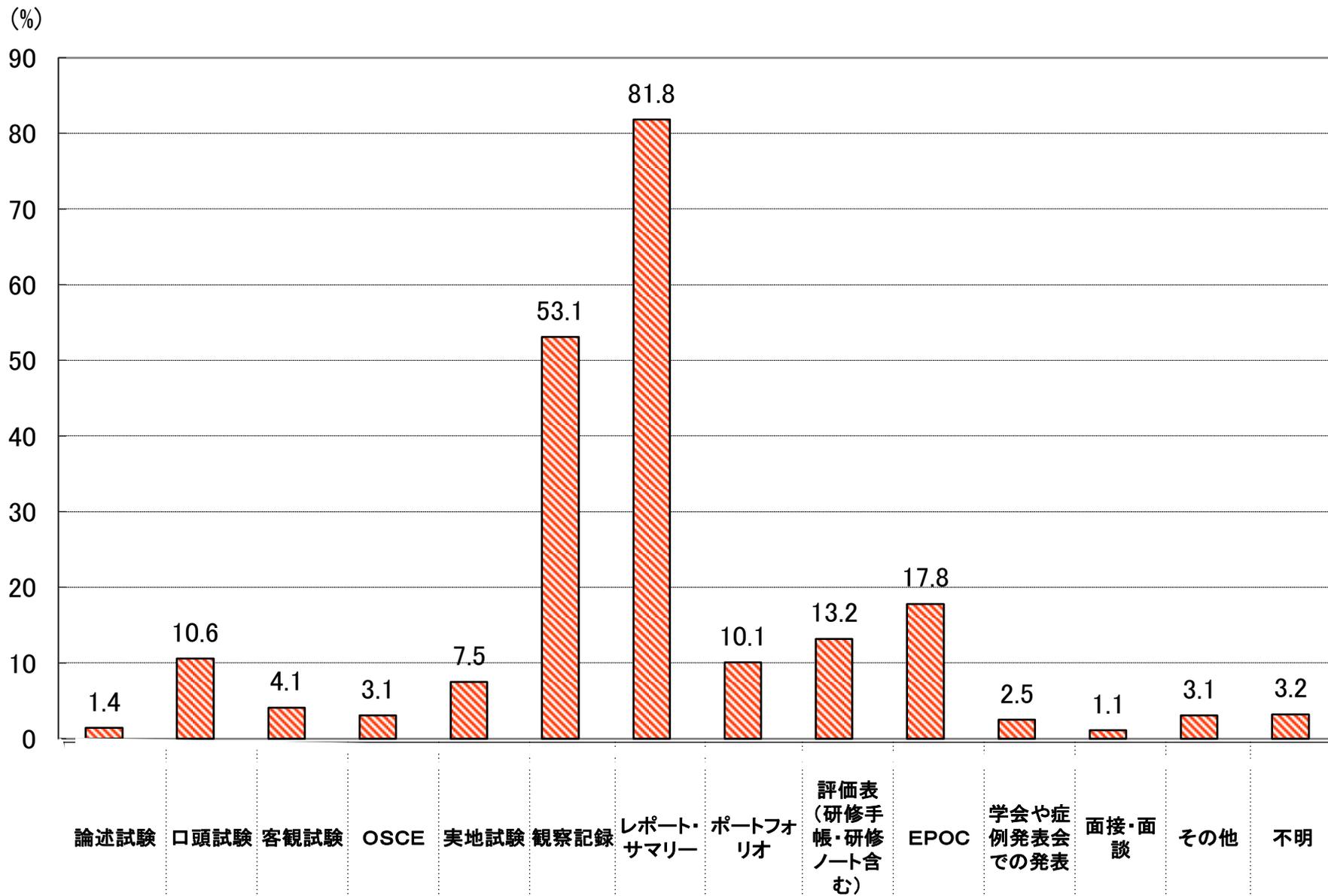
結 果

- 1059病院中、830病院から回答(78.4%)
- 病床数別(200床未満、200~400床未満、400~600床未満、600床以上)
- 大学病院(国立・公立・私立)か
大学病院ではないか

などに分類して検討

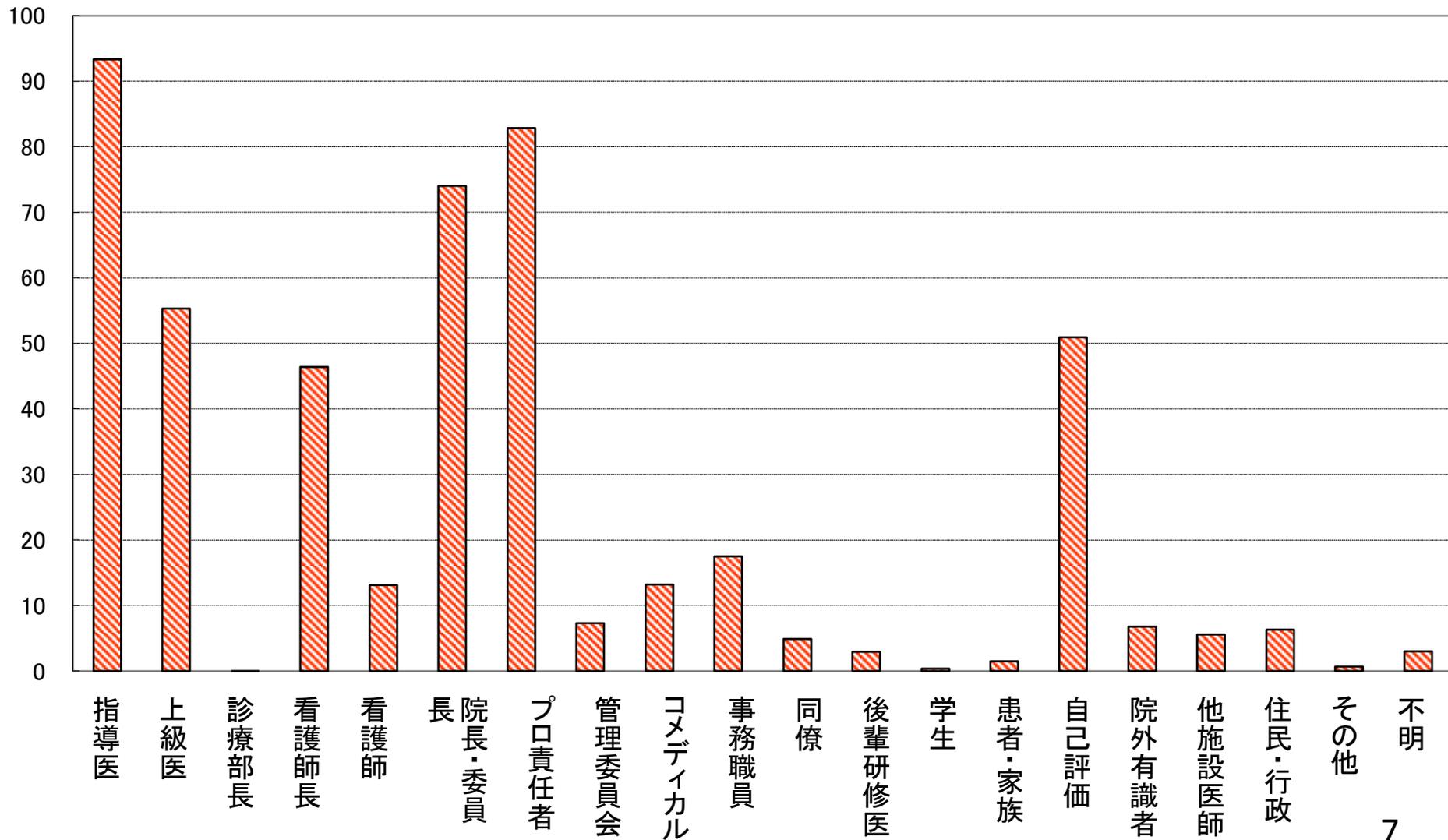
- 以下は病床数別の結果を中心に示す

到達目標達成度の総括的評価の評価方法

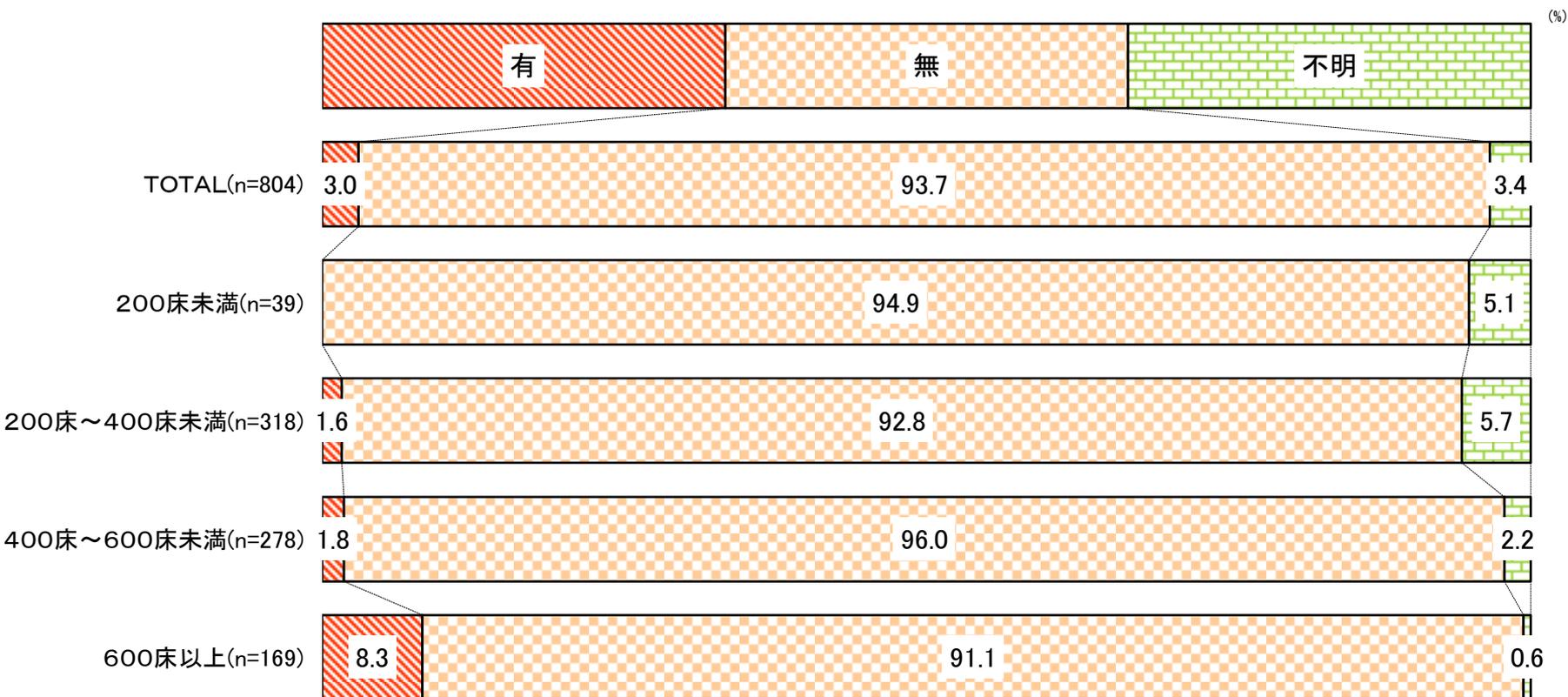


到達目標達成度の総括的評価の評価者

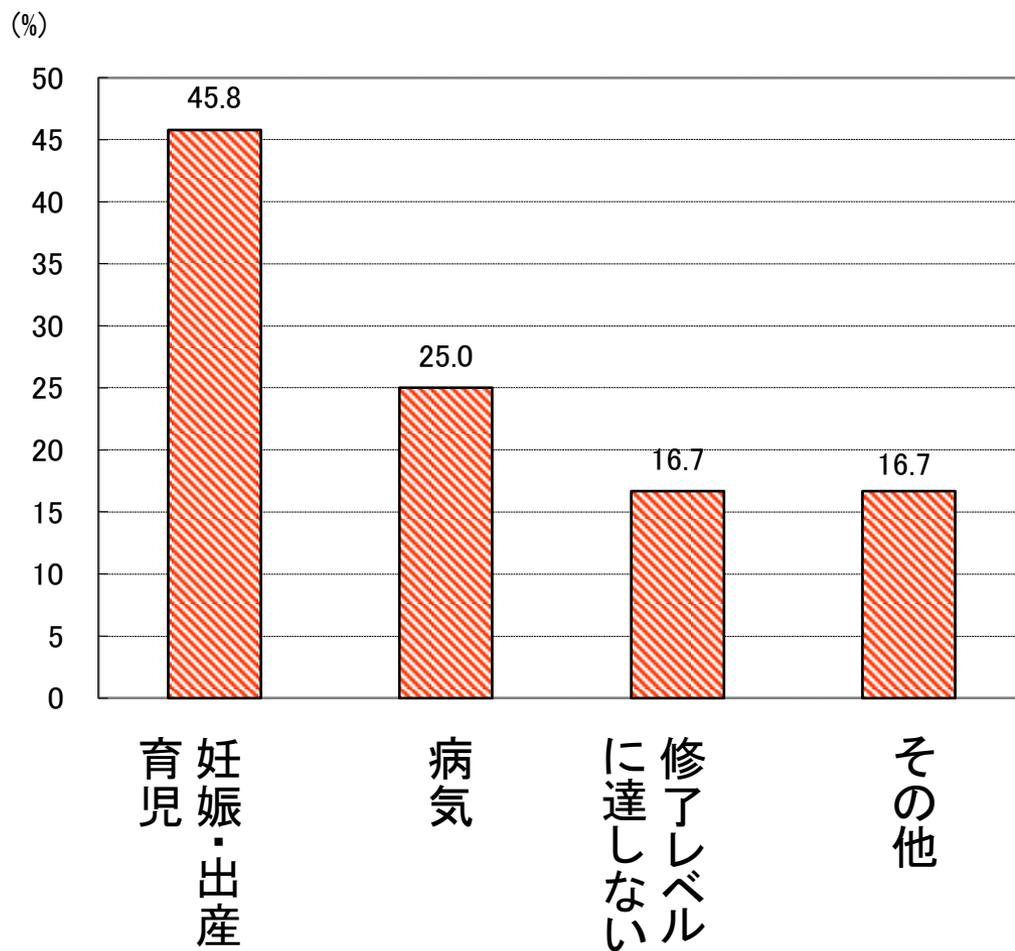
(%)



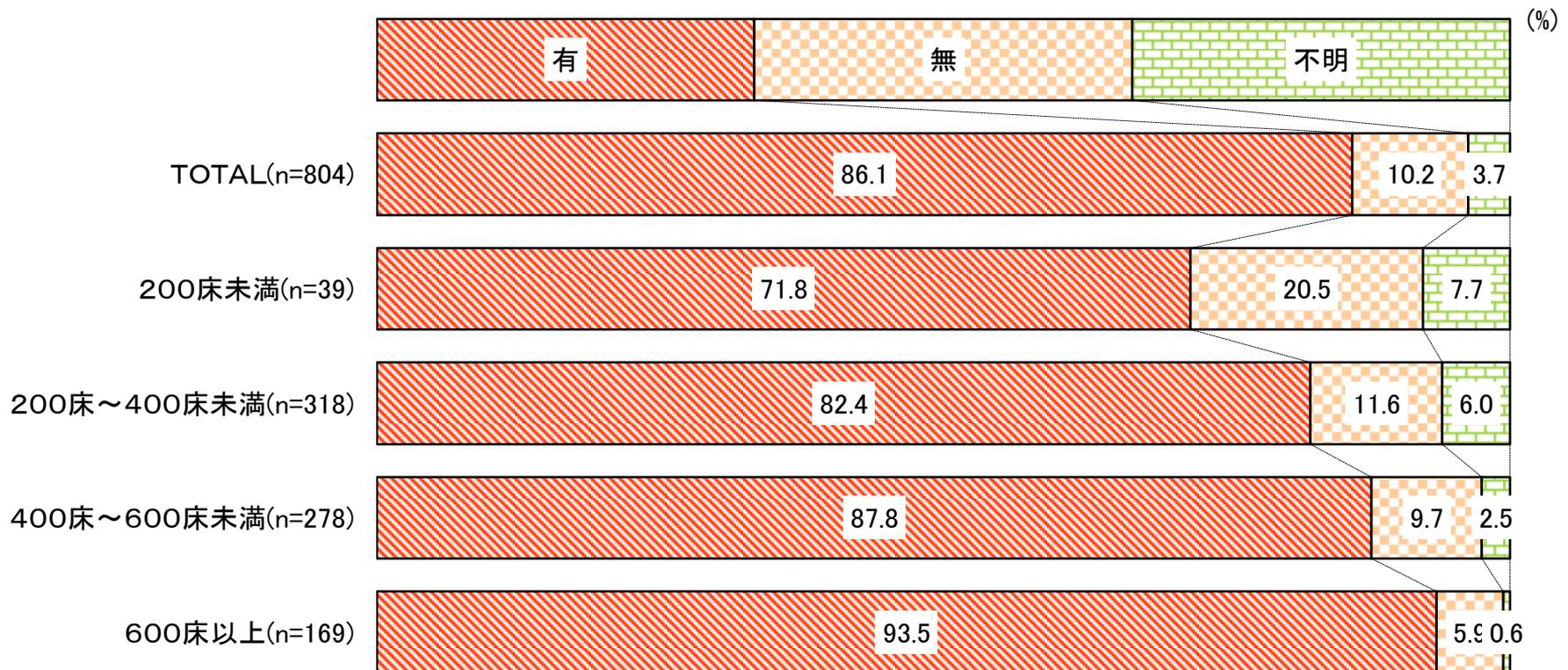
修了認定されなかった研修医の有無



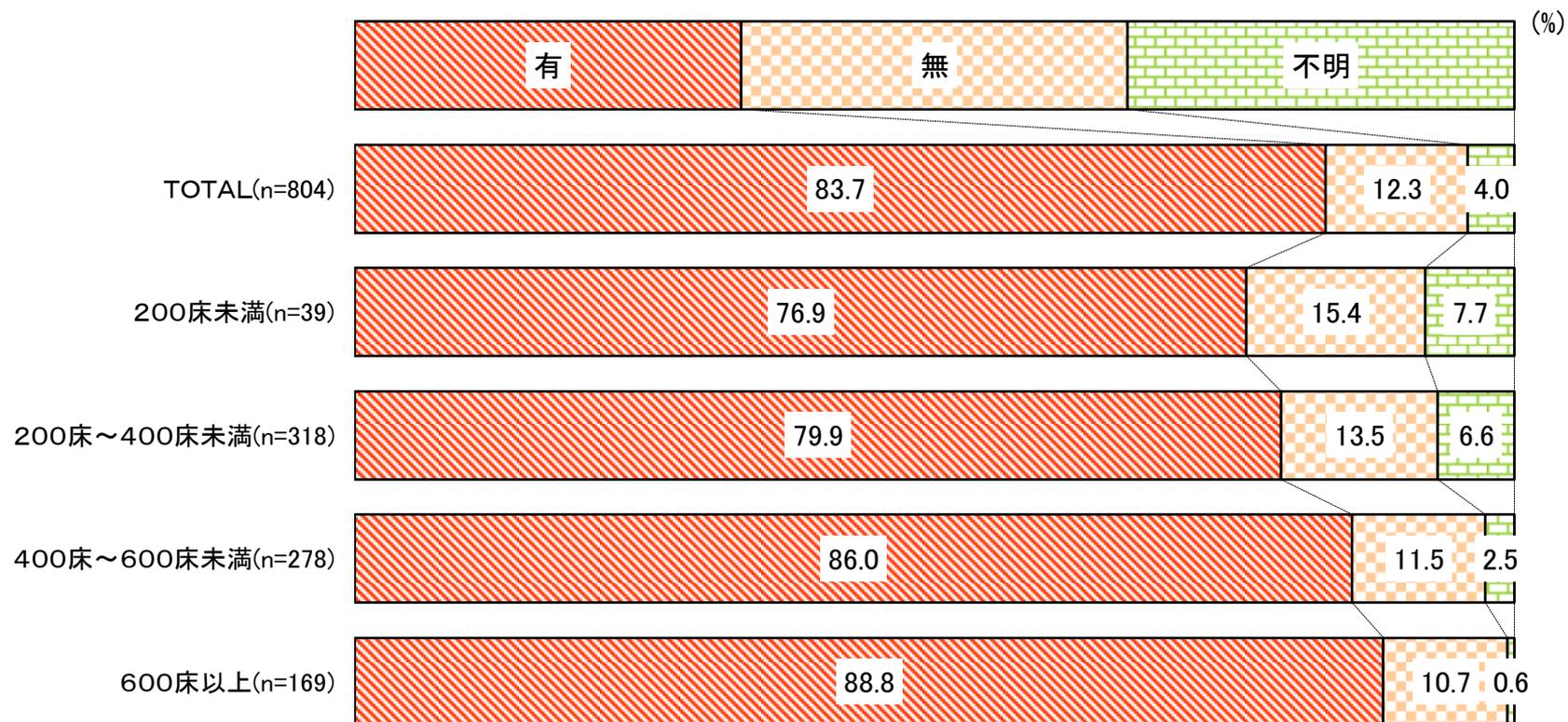
修了認定されなかった理由



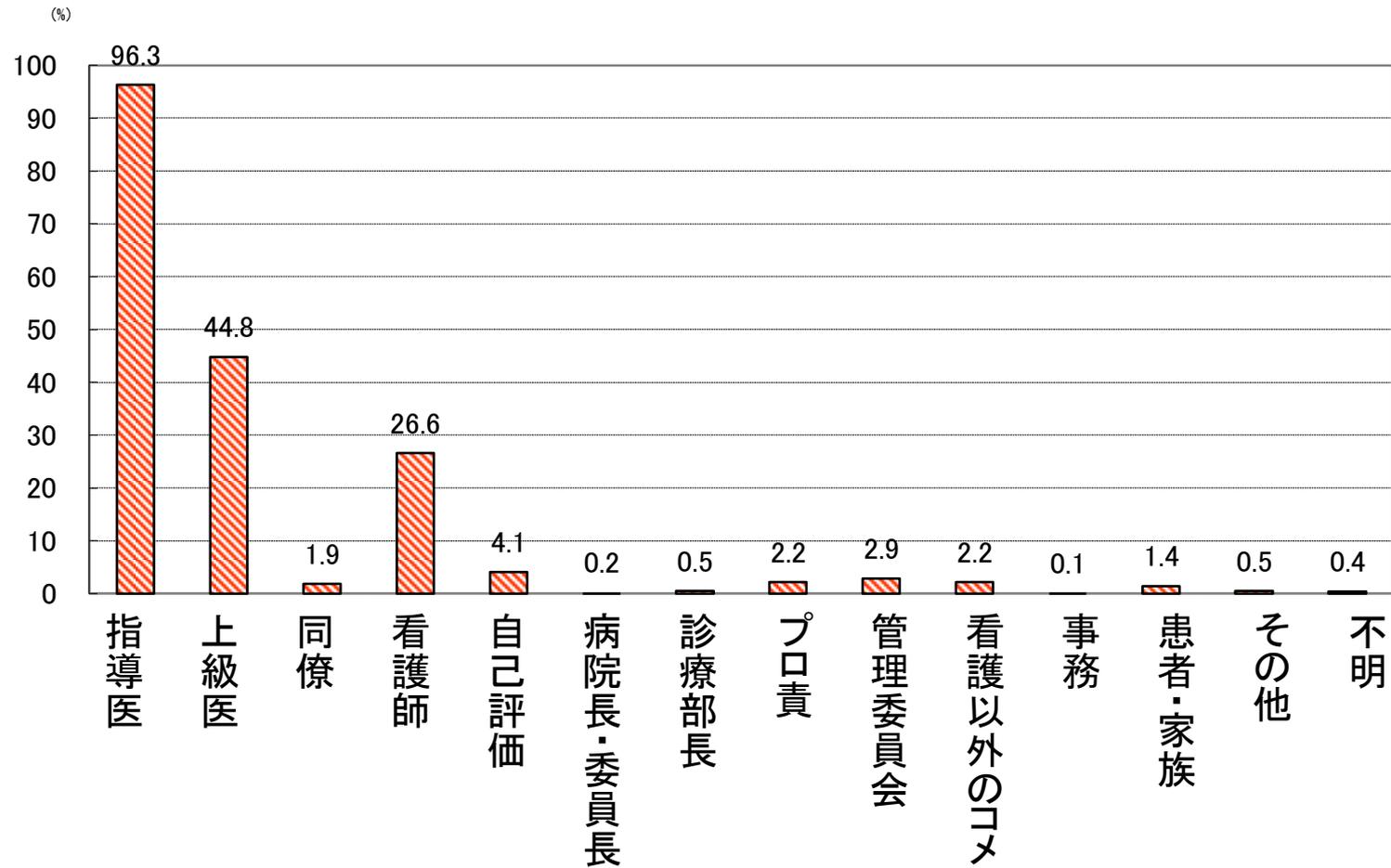
事前に研修医に対し、総括的評価の評価方法提示の有無



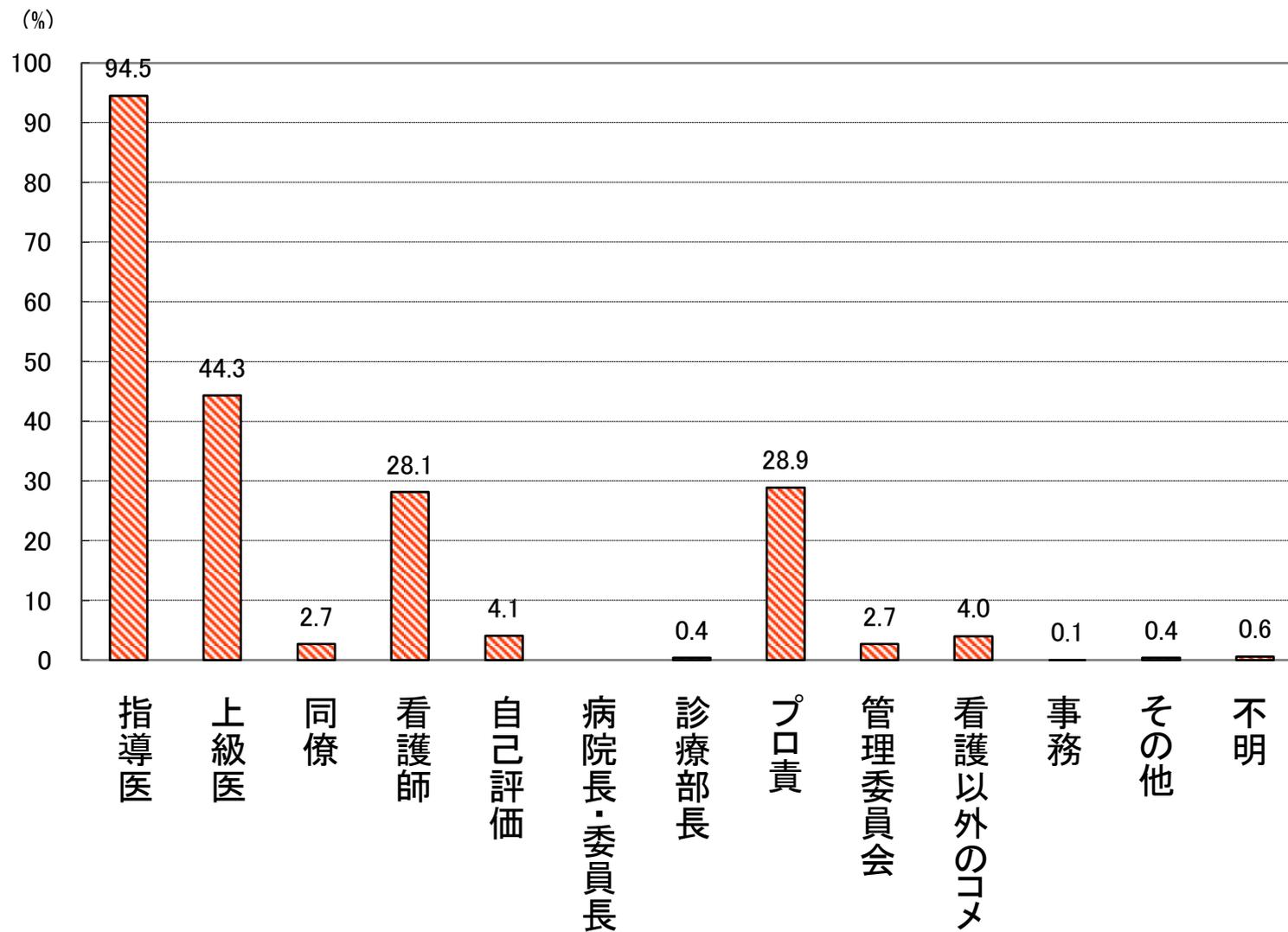
事前に指導医に対し、総括的評価の評価方法の提示の有無



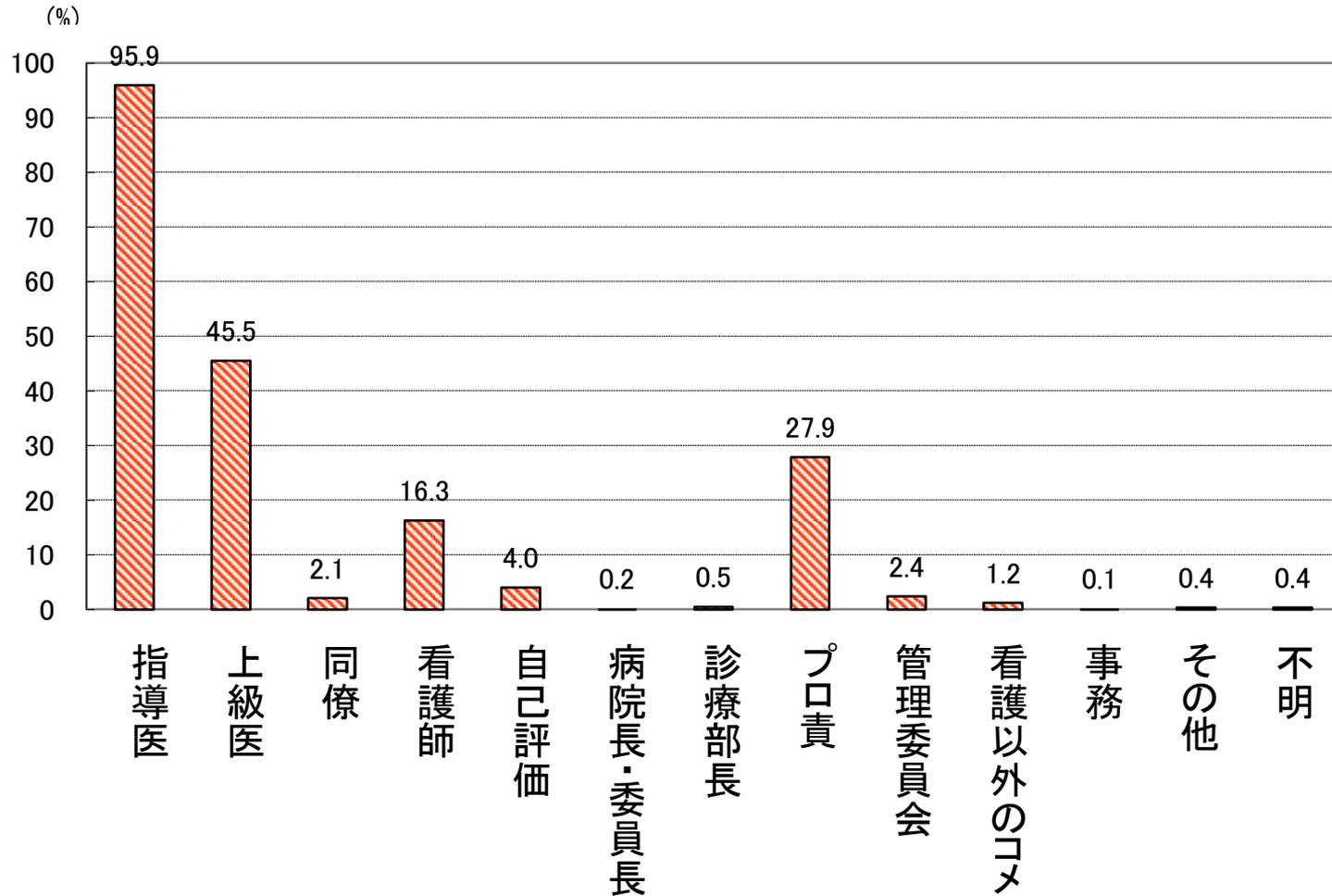
「患者－医師関係」についての評価者



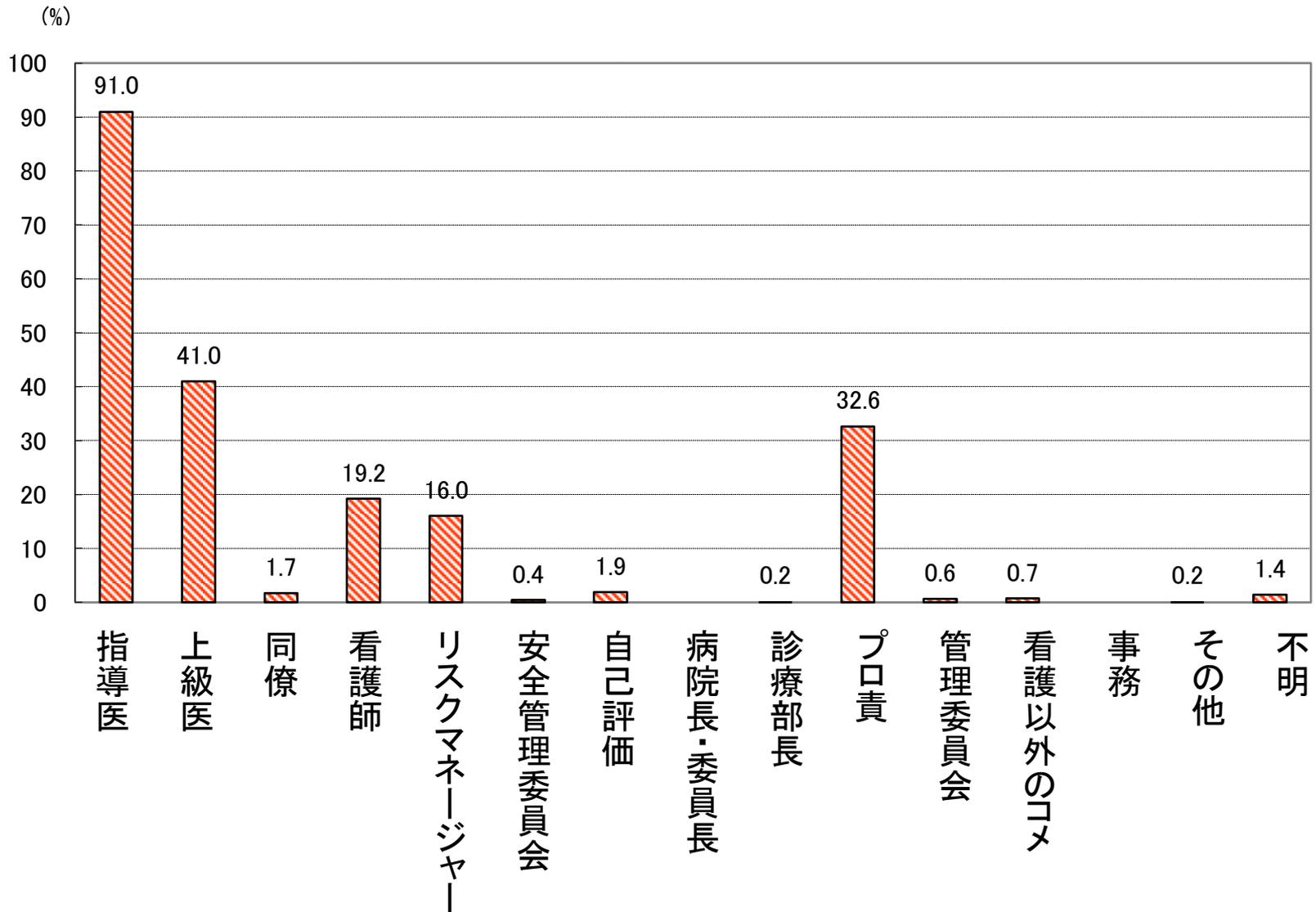
「チーム医療」についての評価者



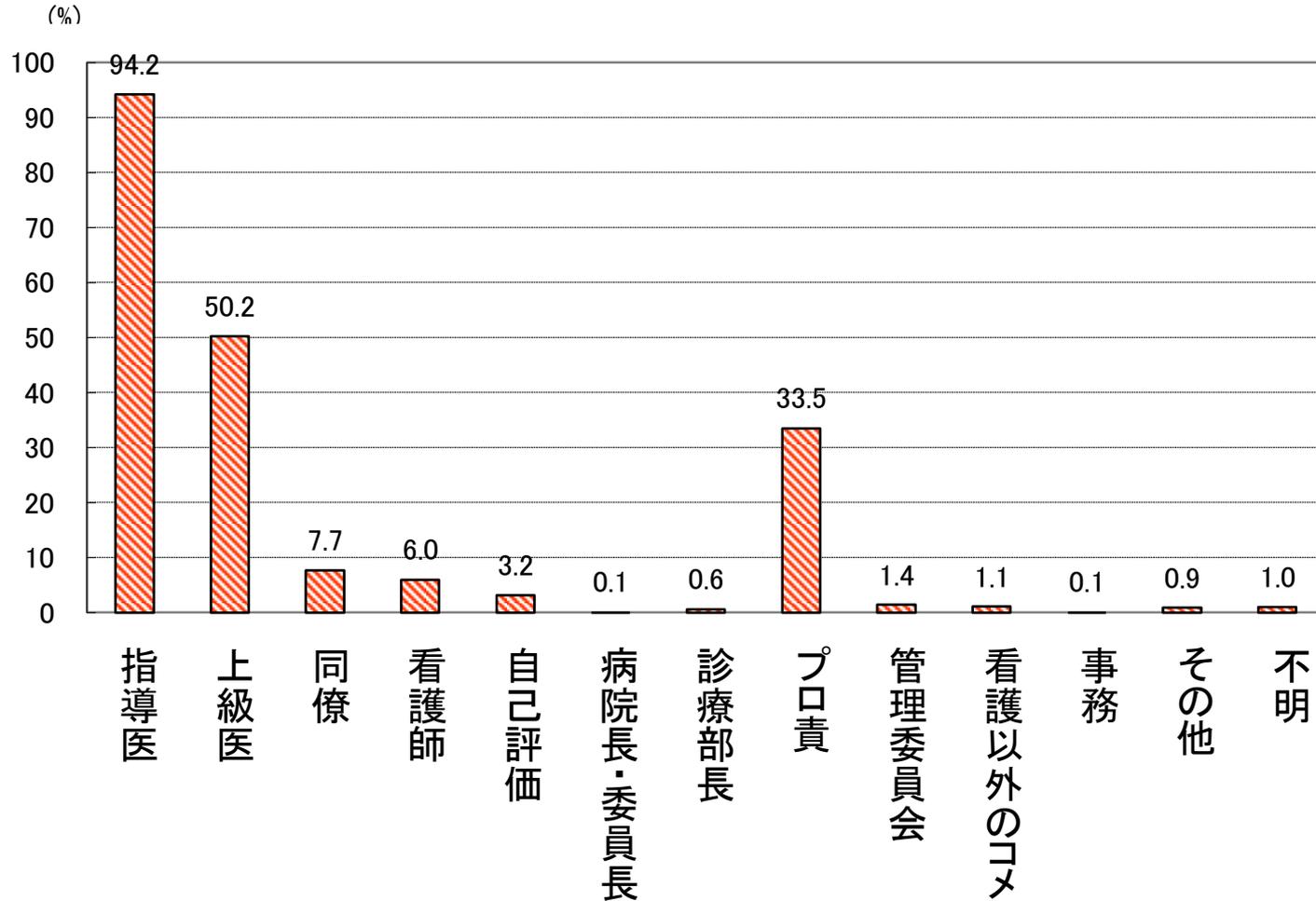
「問題対応能力」についての評価者



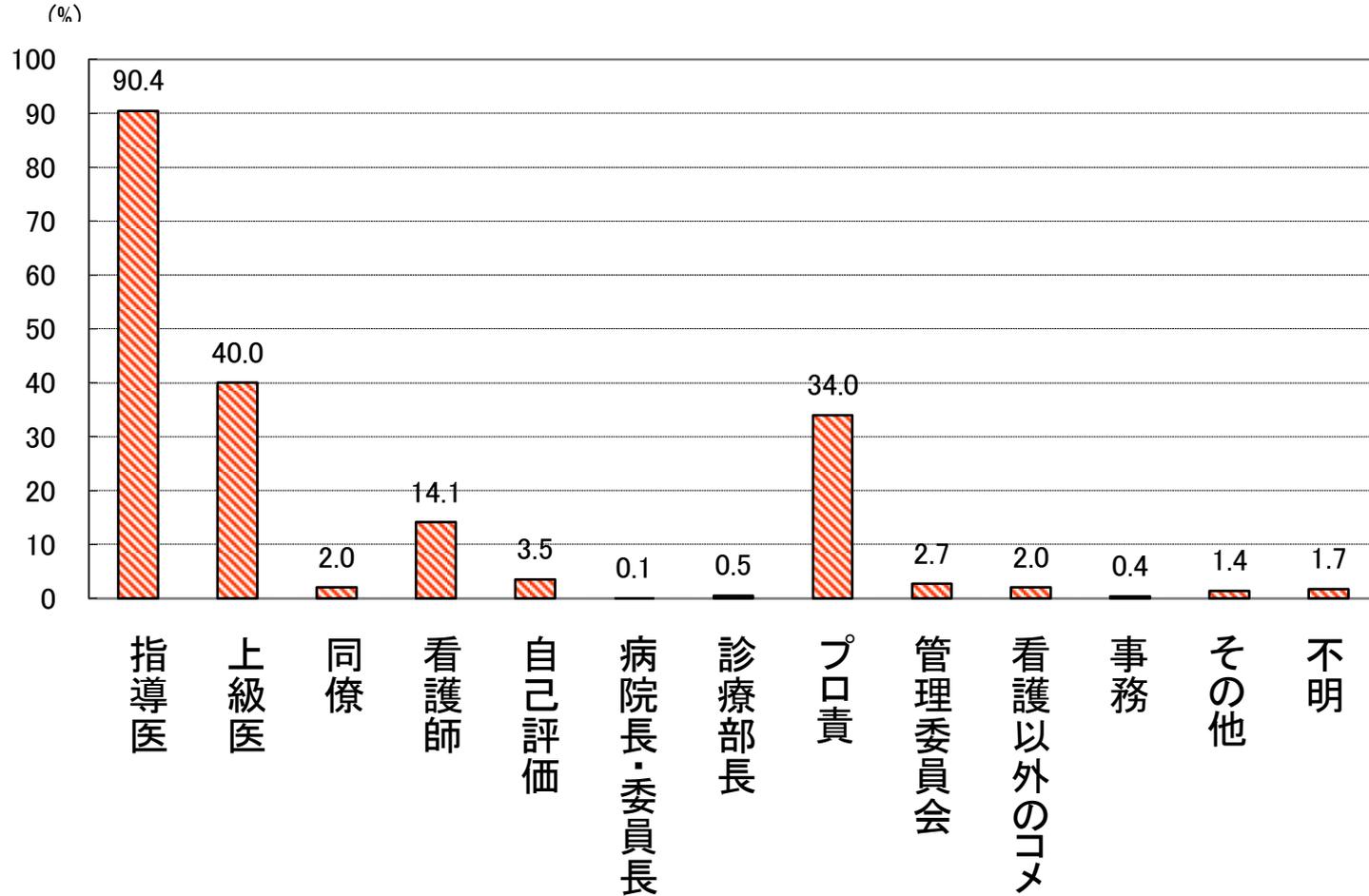
「安全管理」についての評価者



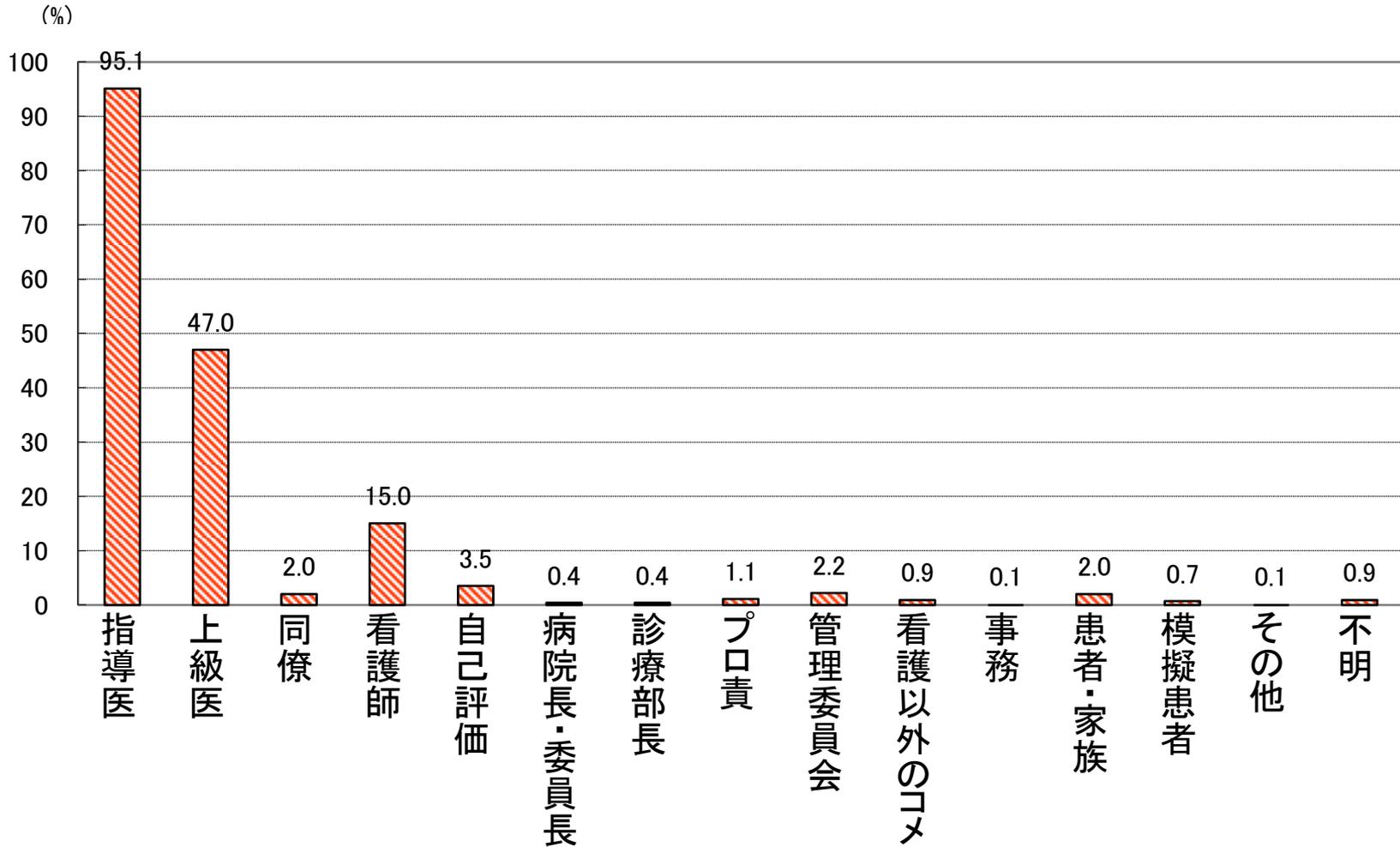
「症例提示」についての評価者



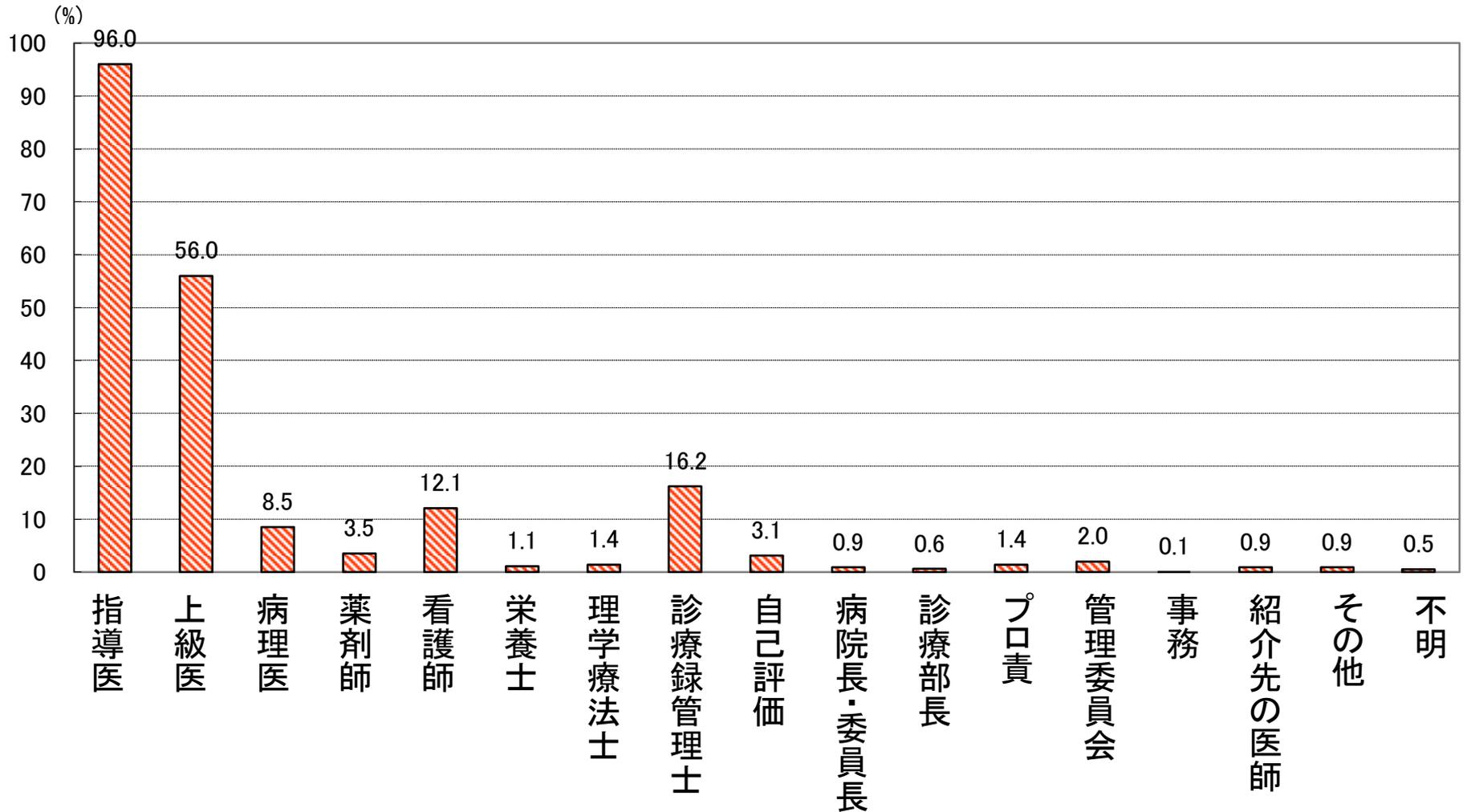
「医療の社会性」についての評価者



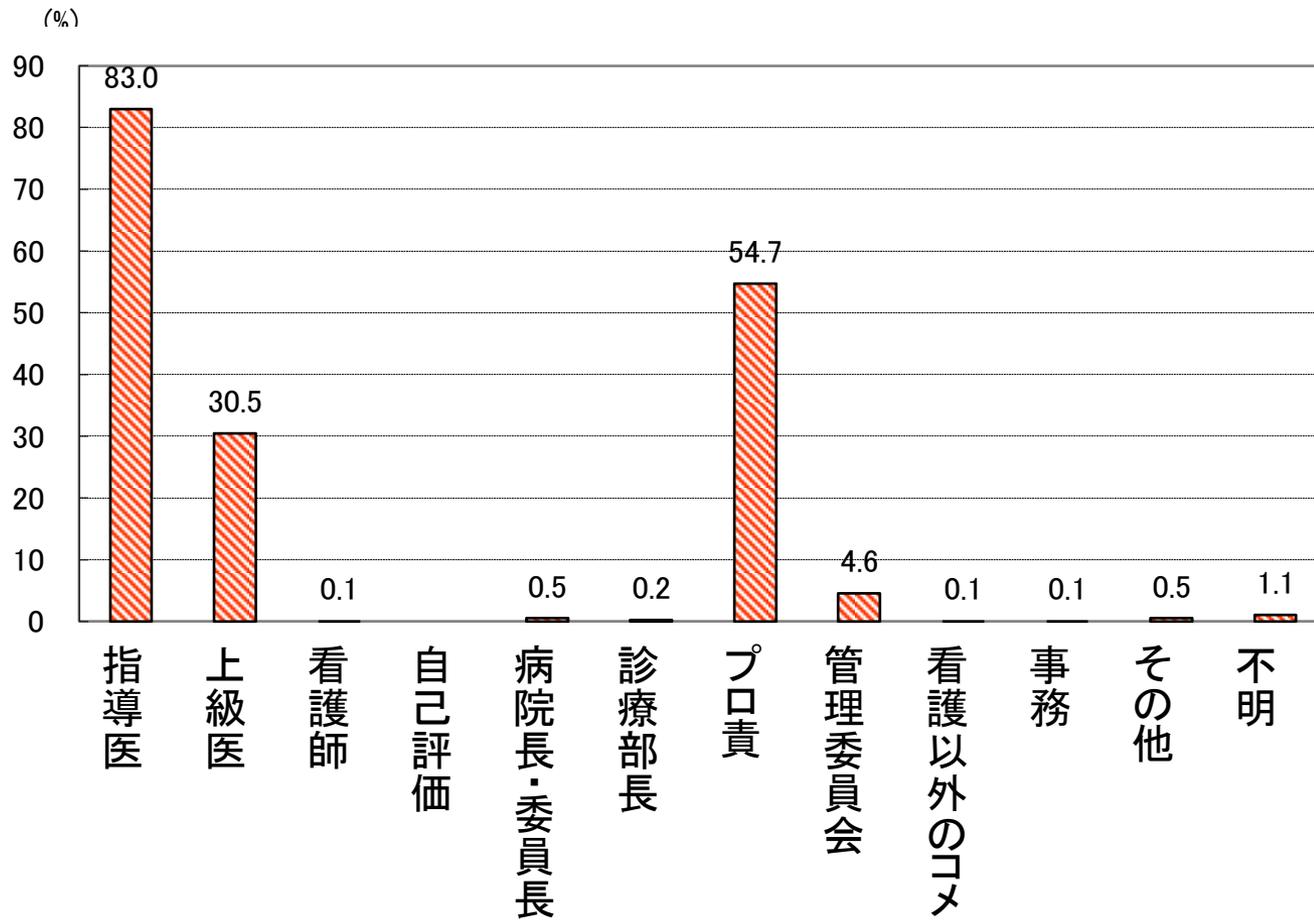
「医療面接」についての評価者



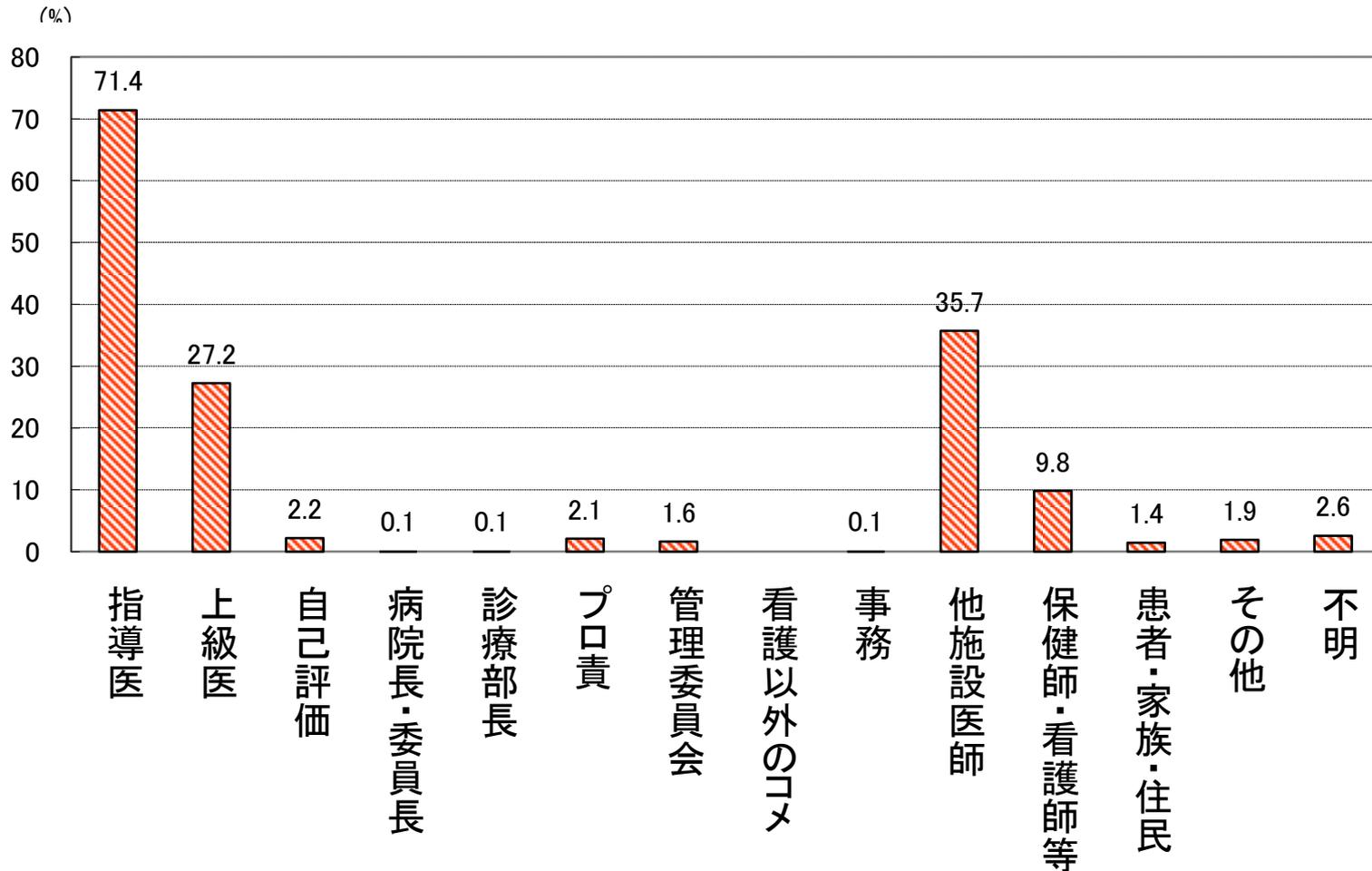
「医療記録」についての評価者



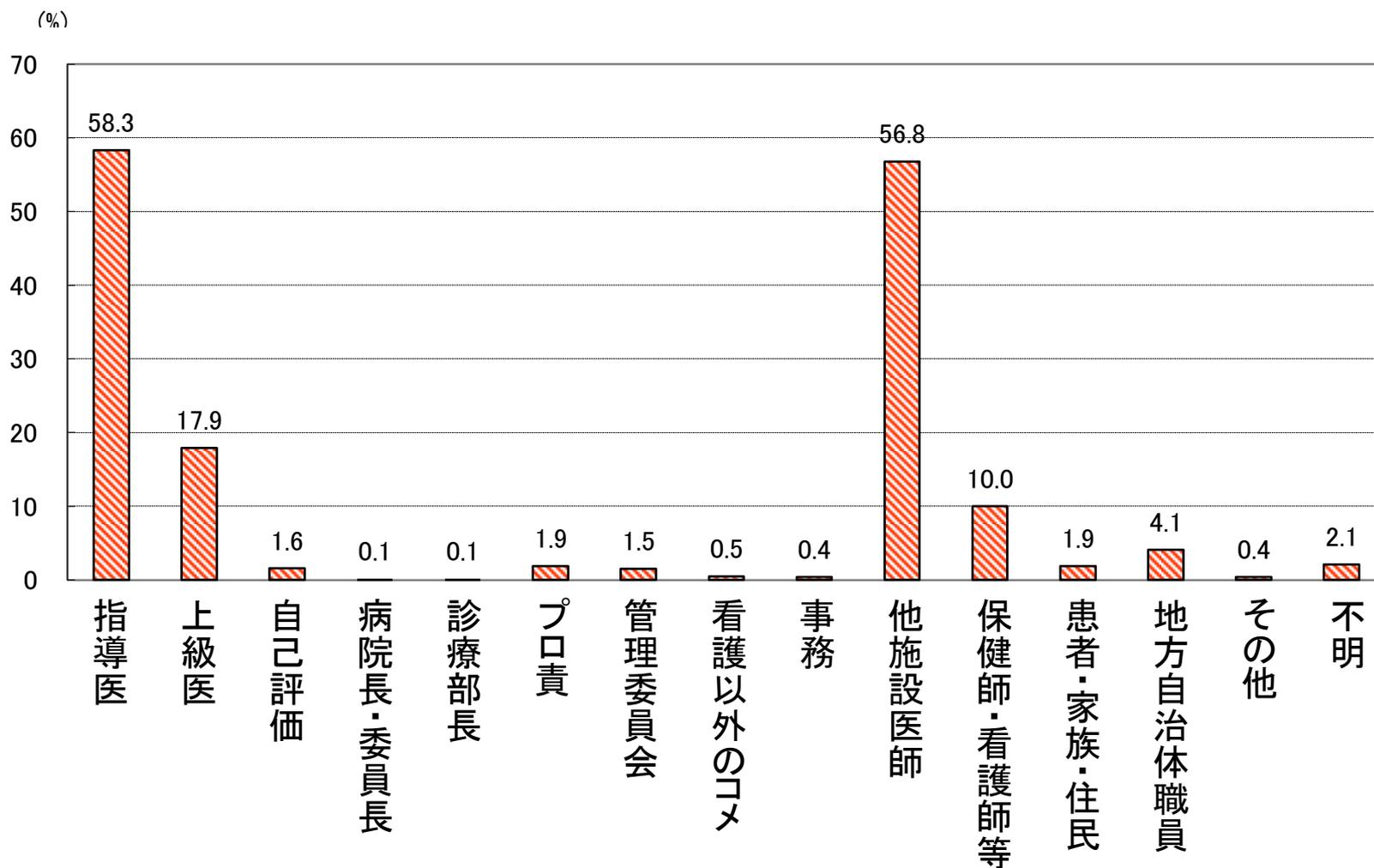
「経験すべき症状・病態・疾患」のレポートについての評価者



「予防医療」についての評価者



「地域医療」についての評価者



まとめー1/2

1. 達成度の総括評価の80%はレポート、次いで観察記録。EPOCは大学病院の40%、一般病院の15%で利用
2. 総括評価で、修了と認定できなかった研修医（除 中断）：一定割合で存在（要追跡）
3. 研修開始時に研修医や指導医に総括評価の方法を明示していない病院あり
4. 評価者は指導医が90%。大学病院では医師以外の職種による評価の割合が少なく、小規模病院の方が評価者は多職種

まとめー2/2

5. 行動目標(患者-医師関係、チーム医療、問題対応能力、安全管理、症例提示、医療の社会性)と経験目標(医療面接、医療記録、予防医療・地域医療)については、評価方法に戸惑いあり、何らかの目安を期待
6. レポートについて書式を定めてあるのは60%。
推奨される書式案の提示を期待
7. 地域医療に携わっている医師や、医師以外の人材も研修医の評価に参画を。